



▲工事用道路として、また生活道路として使われています。



▲開通式後、地元町内会の皆さんにより猪鍋がふるまわれました。

これまで整備を進めてきた、県道大河内森線付替工事が概ね完成し、昨年十二月二十四日にはほぼ全線が開通しました。

工事用道路として整備した区間と合せ、ダム湖から県道袋井春野線元開橋までの約十一キロメートルの区間が、カーブが多く狭隘な道路から二車線道路に生まれ変わり、利便性、安全性が大きく向上しました。

当日は、関係者による式典・パレードの後、地元天方地区の皆さんが振舞ってくれた、心尽くしの猪鍋で開通をお祝いしました。

工事資材の運搬路として利用される付替道路の完成は、太田川ダム建設工事に一層拍車をかけるとともに、地域の生活基盤道路として地元の振興に大きく寄与するものと期待されます。

県道大河内森線の付替整備が完了

環境対策連絡会」に報告し、結果の分析や対策について助言を受けています。



▲猛禽類の繁殖行動・活動の調査

調査結果は猛禽類の専門家も加わる「太田川ダム

しながら工事を進めています。

また、平成十二年より毎年、繁殖行動や活動の中心となる地域を調査して、活動に変化がないか確認しています。

太田川ダムでは、環境に配慮しながら工事を進めております。

その一つとして、工事騒音がクマタカやオオタカなどの猛禽類の生息に深刻な影響を与えぬよう、騒音レベルを測定し、発破量や防音対策の効果を確認して工事を進めています。ダム本体内では、繁殖期に入る前の平成十五年十一月に騒音調査を実施し、今後、発破を使っても、大きな騒音が発生しないことを確認しました。



工事騒音の測定

猛禽類への配慮

静岡県企業局からのお知らせ 豊田町消費者団体に太田川の水の安全性を説明



平成十五年十二月二十八日(金)、豊田町役場において、豊田町の消費者団体である「豊田町消費者の会」のメンバーに対し、遠州広域水道用水供給事業(太田川水系)の説明会を開催しました。

当日は、企業局の職員がパソコンによる図や写真を使いながら太田川からの取水の必要性と水質の安全性を中心に説明しました。会のメンバーからも、水質に関する質問があり、水道水の安全性に対する関心が高いことを再認識しました。

説明会では、企業局の水道用水で作ったペットボトルも試飲してもらいましたが、たいへんおいしいと好評でした。

平成16年度工事の概要

- 引続き堤体部の掘削を進め、平成16年度には全体掘削量約76万㎡が概ね完了する予定です。
- 原石山ではコンクリートの材料となる岩石の採取を始めます。
- ダムサイト周辺では、コンクリート製造設備(バッチャープラント)・運搬設備、骨材製造プラントを設置します。
- 間伐材を利用するなど、環境や工事費の節減に配慮して付替林道工事を進めます。



掘削が進むダムサイト



付替林道工事
(杉沢右岸林道)

太田川ダム建設事業進捗状況

平成16年度予算を含めた進捗率は約58%となります。また、契約済みの本体工事費を含めると、80%を超えた進捗となっています。

